

世界防災フォーラム 2025 仙台市主催セッション
「観光分野における災害リスク削減のあり方とは―気候変動、地震など
複合災害リスクによる不確実性にわれわれはいかに立ち向かうか―」開催結果概要

1. 日時 令和7年3月8日（土） 13:30-14:30
2. 会場 仙台国際センター会議棟 2F「萩」
3. 主催 仙台市（誘客戦略推進課）、独立行政法人 国際協力機構
4. 入場者数 153名

5. 構成・登壇者

■ 基調講演

- 観光危機と対応

観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏

■ 事例発表

- 地域防災力を高める取り組み

移転跡地利活用事業者連絡協議会

仙台 reborn 株式会社 AQUAIGNIS SENDAI

専務取締役 深松 栞 氏

- カリブ地域での観光レジリエンス強化の取り組み

カリブ災害緊急管理機関（CDEMA）

JICA カリブ地域総合防災アドバイザー 松村 直樹 氏

- 観光レジリエンス向上への国際的な取り組み

世界観光機関（UN Tourism）駐日事務所

副代表 大宅 千明 氏

6. 内容

旅行需要の拡大により、地域経済にとって観光産業の重要性が増す一方、気候変動や地震などによる複合災害のリスクが高まっており、世界的に観光客の安全確保や観光セクター全体の強靱化が課題となっている。本セッションでは、専門家による観光危機管理に関する解説や、世界各地における災害リスク削減に向けた取組みの事例発表を通じて、多様なステークホルダーに対して観光レジリエンスの重要性を発信した。最後のまとめでは、本市として今後も各地の経験から学びを得ながら、今年度作成した観光危機管理マニュアルの活用等により観光レジリエンスの向上に取り組んでいくことを共有した。

7. 参加者からの声（アンケートは取得しておらず、ヒアリングのみ）

- ・ 特にカリブ諸島の取り組みなど、世界の話聴けて興味深かった。
- ・ 今回学んだ事例について、自分たちの防災の取り組みの参考にしたい。
- ・ なかなか聞くことのない国際的な状況を知ることができ、貴重な機会となった。

(写真)



会場の様子



主催者挨拶



基調講演：高松 正人 氏



事例発表：深松 栞 氏



事例発表：松村 直樹 氏



事例発表：大宅 千明 氏



まとめ